



スポーツ月謝への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



10月といえば「体育の日」があることから、スポーツへの関心が高まる月でもあります。先日のリオデジャネイロオリンピックでは、日本は過去最多となる41個のメダルを獲得しました。また、国別のメダル獲得数ランキングを見ても7位(金メダル獲得数では6位)になるなど、日本のスポーツのレベルの高さを世界に示した大会でした。これは、アスリートたちの日頃の厳しいトレーニングの成果ですが、御家庭で水泳などのスポーツを習うことに力を入れてこられたことにも後押しされているのではないのでしょうか。

そこで今回は、スポーツ月謝への支出について、家計調査の結果から見てみましょう。

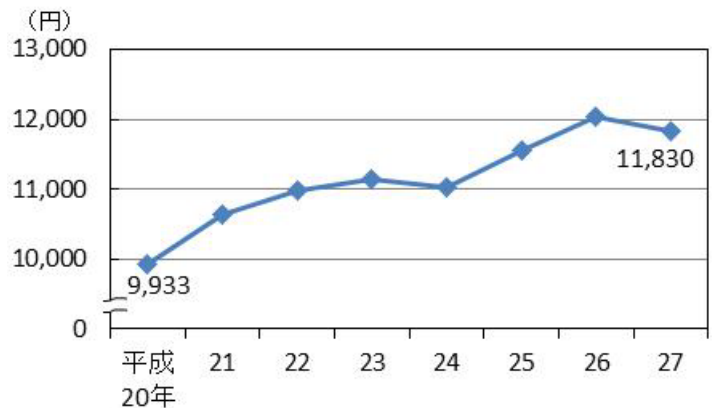
スポーツ月謝とは、水泳、柔道、卓球などのスポーツに関する指導を受けるために月ごとに支払う費用。

スポーツ月謝への支出金額は近年増加傾向

スポーツ月謝への年間支出金額の推移を見てみると、増加傾向にあり、平成27年は20年に比べて19.1%増えています。

このような支出金額の増加も、オリンピックでのメダル獲得数の増加に一役買っていると言えるかもしれません(図1)。

図1 スポーツ月謝への年間支出金額の推移



40歳代及び30歳代の世帯で他の年齢階級より支出金額が多い

世帯主の年齢階級別にスポーツ月謝への年間支出金額を見てみると、40～49歳及び30～39歳の年齢階級で2万5千円以上となっており、他の年齢階級よりも2万円近く多くなっていることがわかります。これは、この年齢層がいわゆる子育て世代であり、子供にスポーツを習わせているためと見られます(図2)。

図2 世帯主の年齢階級別スポーツ月謝への年間支出金額 -平成27年-

